令和4年度 岩手県生コンクリート品質管理監査会議 独自の調査項目 С 実地調査(追加調査)

工場名:

項目	監 査 基 準	調	·判定	監査時のメモ	
		チェックホ゜イント	結 果	71	<u> </u>
2. 製品の検査	当日の圧縮強度試験結果(材齢28日) ※ 材齢28日の供試体が無い場合は、	(1) 圧縮強度試験の試験方法 (JISA5308 10.2.1 圧縮強度, JISA1108)	a: JIS に適合している c: JIS に適合していない	а □ с □	
	材齢7日の圧縮強度試験を行い,7日と28日の関係式から材齢28日の圧縮強度を推定する。 ●配合: ●関係式: ●供試体サイズ φ100mm×200mm □ φ125mm×250mm □	(2) 圧縮強度試験の結果 No. 質量 (kg) 最近 1 2 3 平均	大荷重(kN) 圧縮強度(N/mm²)		
		(3) 圧縮強度の適合性の確認	a: S _L 以上 b: 0.85S _L 以上 ~ S _L 未満 c: 0.85 S _L 未満	a □ b □ c □	
	圧縮強度試験用供試体の作製	(1) 圧縮強度試験用供試体の作製方法 (JISA1132)	a: JIS に適合している c: JIS に適合していない	а 🗆 с 🗆	
	スランプ 又はスランプフロー,及び空気量	(1) スランプ 又はスランプフローの試験方法 (JISA1101, JISA1150)	a: JIS に適合している c: JIS に適合していない	а 🗆 с 🗆	
		(2) タッピング後のコンクリートの評価	 a: プラスティックでワーカブル b: セメントペースト不足,砂量が不足 c: 砂量がやや不足し,粗骨材が分離傾向 d: その他() 	a □ b □ c □ d □	
		(3) 空気量の試験方法 (JISA1128, JISA1118, JISA1116)	a: JIS に適合している c: JIS に適合していない	а 🗆 с 🗆	
	塩化物含有量	(1) 塩化物含有量の試験方法 (JISA 5308 10.6 塩化物含有量)	a: JIS に適合している c: JIS に適合していない	а 🗆 с 🗆	その他の機種名:
		(2) 塩化物含有量測定器の機種名	a: ソルメイト-100 b: ソルターC-6 c: カンタブ d: その他	a □ b □ c □ d □	
3. 容積の検査	容積	(1) 単位容積質量の試験方法 (JISA5308 10.7 容積, JISA1116)	a: JIS に適合している c: JIS に適合していない	а 🗆 с 🗆	

【令和4年度 岩手県生コンクリート品質管理監査会議 特別調査】

- 本調査は、岩手県生コンクリート品質管理監査会議が独自に行うもので、全国統一品質管理監査の結果(減点数)に影響するものではありません。
- 監査受検工場の廃棄物の堆積ヤード、中和後の排水処理、リスクアセスメント、および廃棄物の処理状況を調査し、今後の品質管理および環境保全の向上を目指すものです。

1. 廃棄物の堆積ヤード

項目	種類① コンクリートくず□ 汚泥□ その他□ ()	種類② コンクリートくず□ 汚泥□ その他□ ()
(1) ヤードの堆積容量	(m^3)	(m^3)
(2) 現在の概数・堆積量	(m^3)	(m^3)
(3) 保管状態 (浸出水の経路など)	a:全て満足□ b:一部問題あり□ c:改善を要す□	a:全て満足□ b:一部問題あり□ c:改善を要す□
(4) 表示を設置しているか	a:全て満足□ b:一部問題あり□ c:改善を要す□	a:全て満足□ b:一部問題あり□ c:改善を要す□

※ 上記(1), (2), (3)の項目は, 工場側の申告による。

《産業廃棄物の保管場所の掲示板の要件》

- ◇縦及び横それぞれ60センチメートル以上であること。
- ◇表示事項
- ①産業廃棄物の保管場所である旨
- ②保管する産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。)
- ③保管の場所の管理者の氏名又は名称及び連絡先
- ④屋外において産業廃棄物を容器を用いずに保管する場合に あっては、下記の「最大保管高さ」に規定する高さのうち 最高のもの

※右図は表示例です。

《最大保管高さ》				
(a) ※50%勾配	 (b) 0.5m	50% 勾 [(h-0.5) m	
起点 2m				
(a)囲いに接することなく保 ※ 50%勾配とは、起点から水	(b)囲いに接して 直に 1m 上昇した点を編			

2. 中和後の排水の経路(中和設備がある場合に記入してください)

(1) 中和後に別系統からの混入はないか 評価: $(a: t \sim t)$ 計画に b: -m 問題点あり $c: t \sim t$

(2) 中和設備周辺は清掃されているか 評価: (a: すべて満足 □ b: 一部問題点あり □ c:改善を要す □)

3. リスクアセスメントの実施状況

項目	結 果	判 定	調査時のメモ
(1) 危険性・有害性の特定 工場で取扱う化学物質等の危険性または有害性 について、安全データシート(SDS)を入手し危険 性・有害性を特定している。	a: 取扱っている化学物質の SDS を入手し, 危険性・有害性を特定している b:一部特定していないものがある c: 特定していない	a □ b □ c □	
(2) リスクの見積り 特定した化学物質について、作業種類ごとにリスクを見積もっている。	a: リスクを見積もっている b: 一部でリスクを見積もっていない c: リスクを見積もっていない	a □ b □ c □	【リスクの見積もり方法を記入】 ※ わかる場合で結構です
(3) リスク低減措置の内容の検討 作業種類ごとに見積もったリスクについて、リスクを低減させる方法を検討している。	a:全ての作業でリスクを低減させる方法を検討している b:リスクを低減させる方法を検討していないものがある c:全ての作業でリスクを検討していない	a □ b □ c □	
(4) リスクアセスメント結果の労働者への周知 リスクアセスメントを行った結果について、取扱 う化学物質の危険性または有害性を労働者に周知 している。	a: 労働者に周知している b: 労働者への周知が不十分である c: 労働者に周知していない	a □ b □ c □	【リスクアセスメント結果の周知方法を記入】

	廃棄物の処理状況 残コン・戻りコンの有無 有る 🗆 無い 🗆
	● 有る場合・その処理方法:
	● 無\ 場合・その理由:
(2)	令和3年度のコンクリートくず・汚泥の排出量(合計)
	● 0トン (t) 以上 250トン (t) 未満 □ ● 250トン (t) 以上 500トン (t) 未満 □ ● 500トン (t) 以上 1,000トン (t) 未満 □ ● 1,000トン (t) 以上 □
	 ※ 廃棄物の重量 (t) =廃棄物の容積 (m³) ×産業廃棄物種類別重量換算係数 ※ 産業廃棄物種類別重量換算係数 ● コンクリートくず:1.0 ● 汚泥:1.1

ľ	特記・気付き事項 】	